

# 平成28年度実施施策に係る政策評価書

別紙2

(環境省28-26)

施策名	5-5.自然とのふれあいの推進					
施策の概要	豊かな自然とのふれあいや休養などの国民のニーズに答えるため、持続可能な自然資源の保全を図りつつ、安全で快適な自然とのふれあいの場の提供やふれあい活動をサポートする人材の育成を行う。					
達成すべき目標	安全で快適な自然とのふれあいの場を提供しつつ、ふれあい活動をサポートする人材を育成することでエコツーリズムを推進し、自然とのふれあいの質の向上を図る。また、貴重な自然資源である温泉の保護と適正な利用を図る					
施策の予算額・執行額等	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況(百万円)	当初予算(a)	8,001	8,919	8,203	8,174
		補正予算(b)	0	1,000	10,089	-
		繰越し等(c)	△ 1,666	1,440	(※記入は任意)	
		合計(a+b+c)	9,667	8,479	(※記入は任意)	
執行額(百万円)	8,919	8,140	(※記入は任意)			
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	生物多様性国家戦略2012-2020、日本再興戦略改訂2016、観光立国実現に向けたアクション・プログラム2016					

測定指標	自然公園の年間利用者数の推移(暦年 千人)	基準値	実績値					目標値	達成
		-	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	-	-
		-	843,874	873,199	872,336	集計中	集計中	-	
	年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	-	/	
	エコツーリズム推進法に基づく全体構想認定数(括弧内は累計)	基準値	実績値					目標値	達成
		20年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	40年度	-
		0	2(3)	1(4)	2(6)	1(7)	4(11)	(47)	
	年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	-	/	
	国立公園・国民公園年間利用者数の推移(千人)	基準値	実績値					目標値	達成
		-	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	-	-
		-	345,867	367,285	366,335	集計中	集計中	前年度比1%増	
	年度ごとの目標値	/	-	349,325	370,957	369,998	集計中	/	
	温泉の自噴湧出量(L/分)	基準	施策の進捗状況(実績)					目標	達成
		昭和45年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	-	-
		651,265	677,432	726,357	733,740	686,427	集計中	前年度の水準を維持	
年度ごとの目標	/	738,000	677,000	726,000	733,000	686,000	/		
国立公園における自然再生事業推進のための実施計画数	基準値	実績値					目標値	達成	
	-	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	32年度	-	
	-	9	11	11	11	11	16		
年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	-	/		
国指定鳥獣保護区における保全事業実施計画数	基準値	実績値					目標値	達成	
	-	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	32年度	-	
	-	10	10	11	11	11	12		
年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	-	/		

評価結	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 相当程度進展あり  (判断根拠) 測定指標のうち、国立公園・国民公園の利用者数は、利用が集中するハイシーズンの天候不順の影響により前年度比僅かに減少となっている。エコツーリズム推進法に基づく全体構想についても、毎年度新たに認定を行っている。温泉の自噴湧出量については、前年度から減少しているものの、基準年と比較すると上回っている。
	施策の分析	・平成28年度は全国で198件の自然ふれあい行事が実施され、37,000人以上が参加した。これにより、国民の自然とのふれあい機会の創出等が進められた。 ・エコツーリズム推進全体構想の認定は、毎年、着実に認定数が増加しており、施策の効果がみられる。 ・温泉の自噴湧出量は基準年を上回る状況が続いていることから、貴重な自然資源である温泉の保護と適正な利用が図られている。

果	次期目標等への反映の方向性	<p><b>【測定指標】</b></p> <p>&lt;自然公園の年間利用者数の推移&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然とのふれあいの場を推進する施策の成果を把握するため、関係するデータとして自然公園利用者数を設定したもの。</li> <li>・エコツーリズム推進法の規定に基づく全体構想の認定数</li> <li>・エコツーリズム推進全体構想について、平成40年度に全体構想認定数が1以上ある都道府県数が47になることを目標として、毎年3件認定することを次年度以降の目標とした。</li> </ul> <p>&lt;温泉の自噴湧出量&gt;</p> <p>温泉資源が保護され、適正に利用されているかは自然の産物である「温泉の自噴湧出量」を把握することで確認できる。そのため、引き続き前年度の水準を維持することを目標とした。</p>
---	---------------	---

学識経験を有する者の知見の活用	国立公園満喫プロジェクト有識者会議において、国立公園の利用者数や取組内容について報告するとともに、出された意見を施策に反映している。
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	自然公園等利用者数調
---------------------------	------------

担当部局名	国立公園利用推進室 自然環境整備課	作成責任者名 (※記入は任意)	堀内 洋 木村 英雄	政策評価実施時期	平成29年8月
-------	----------------------	--------------------	---------------	----------	---------